

お客様本位の業務運営に関する 主な取組状況（2023年度）

2024年6月



静岡中央銀行

- 株式会社 静岡中央銀行（以下「当行」）では、お客様の安定的な資産形成の重要性の高まり等を踏まえ、特に金融商品販売におけるお客様本位の取組みを更に充実させるため、[2017年6月23日に「お客様本位の業務運営に関する取組方針」](#)を策定し、[本方針に係る取組状況等を定期的に公表](#)してまいりました。

お客様本位の業務運営に関するこれまでの取組状況

2017年6月	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 「顧客本位の業務運営に関する原則」（以下「金融庁原則」） 採択 ◎ 「お客様本位の業務運営に関する取組方針」 策定・公表
2018年6月 ～ 自主的KPI公表開始	◎ 「お客様本位の業務運営に関する主な取組状況（2017年度）」 公表
2019年3月 ～ 投資信託 共通KPI公表開始	◎ 「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI（2018年3月末基準）」 公表
2021年8月	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 「金融庁原則（2021年1月改訂）」 採択 ◎ 「お客様本位の業務運営に関する取組方針」 改訂・公表
2022年6月 ～ 外貨建保険 共通KPI公表開始	◎ 「外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPI（2022年3月末基準）」 公表

- 今般、[「お客様本位の業務運営に関する主な取組状況（2023年度）」](#)を取り纏めましたので、お知らせいたします。今後も地域の皆さまのベストパートナーとして、幅広いニーズに迅速かつ積極的に対応し、お客様本位の業務運営の更なる向上に努めてまいります。

【取組方針 1】 お客様中心主義及び お客様本位の取組みの徹底	P 3
【取組方針 2】 お客様の最善の利益の追求	P 4
【取組方針 3】 利益相反の適切な管理	P 8
【取組方針 4】 手数料の明確化	P 9
【取組方針 5】 重要な情報の分かりやすい提供	P12
【取組方針 6】 お客様にふさわしいサービスの提供	P16
【取組方針 7】 お客様本位の取組みに合った 業績評価・人事評価体系の整備	P22
■ 投資信託の販売会社における比較可能な共通 K P I	P24
■ 外貨建保険の販売会社における比較可能な共通 K P I	P28

【取組方針 1】 お客様中心主義及び お客様本位の取組みの徹底

(1) 当行の経営理念である「堅実で健全な経営」のもと、基本方針となる「お客様中心主義」及び「お客様本位の業務運営に関する取組方針」を全役職員が継続的に行う行内研修等を通じて遵守し、企業文化として定着するよう努めてまいります。

【金融庁原則 2、原則 7（注）に対応】

(2) 以下の取組みに対する成果や進捗を定期的に検証し、不完全な項目については見直しを行ってまいります。

【金融庁原則 2、原則 7（注）に対応】

- 「[預かり資産研修](#)」の実施状況 は以下のとおりです。

預かり資産研修

	2021年度	2022年度	2023年度
実施回数	39回	40回	30回

- また、預かり資産研修の他にも「[内部管理責任者研修](#)」を年 1 回実施 しており、「お客様中心主義」及び「お客様本位の業務運営に関する取組方針」の定着やコンプライアンス態勢の充実を図っております。
- 「お客様本位の業務運営に関する取組方針」に基づく成果や進捗を定期的に検証し、その内容は [毎年 6 月に「お客様本位の業務運営に関する主な取組状況」として公表](#) するとともに、不完全な項目については見直しを行っております。

(1) お客様の最善の利益の追求に向けて、お客様本位の良質な商品・サービスの提供に努めるとともに、「お客様アンケート」等を通じて、お客様の意見・要望等を各種施策に反映させ、お客様の満足度及び利便性向上に取り組んでまいります。

【金融庁原則 2（注）に対応】

- 当行では 年 1 回「お客様アンケート」を実施 しており、アンケートを通じてお客様の意見・要望等を各種施策に反映させ、お客様の満足度及び利便性向上に取り組んでおります。
- 2020年度に タブレット端末を全店に導入 し、より分かりやすい情報・サービスの提供に努めた結果、投資信託の商品説明・提案内容、アフターフォローに対するお客様の満足度は80%前後で推移 しております。

お客様アンケート（一部抜粋）

	2021年度	2022年度	2023年度		2021年度	2022年度	2023年度
当行に対する総合的な満足度【個人先】 「満足」または「やや満足」の割合	91%	90%	91%	当行との今後の取引【個人先】 「取引を増やしたい」または 「現状のまま継続したい」の割合	96%	95%	96%
うち「現役層」	91%	88%	90%	うち「現役層」	97%	95%	96%
うち「シニア層」	91%	91%	92%	うち「シニア層」	96%	95%	96%
投資信託の商品説明・提案内容【個人先】 「満足」または「やや満足」の割合	78%	82%	84%	投資信託のアフターフォロー【個人先】 「満足」または「やや満足」の割合	76%	76%	80%
うち「現役層」	80%	79%	84%	うち「現役層」	76%	73%	80%
うち「シニア層」	78%	84%	84%	うち「シニア層」	76%	78%	80%

※「現役層」… 給与振込先、投資信託保有先が中心 「シニア層」… 年金振込先、投資信託保有先が中心

(2) お客様の多様なニーズにお応えするため、新たな商品の導入等、商品ラインアップの充実に努め、長期・分散・積立投資等に適した商品提案を行ってまいります。

【金融庁原則2（注）に対応】

- 年度毎の 商品ラインアップ等の推移 は以下のとおりです。今後もお客様の多様なニーズに合った商品を選択いただけるよう、新たな商品の導入、既存商品の見直し等を定期的に行い、商品ラインアップの充実に努めてまいります。
- 2024年1月からの「新NISA」の取扱開始に伴い、2023年度は対象10ファンド（成長投資枠4ファンド、つみたて投資枠6ファンド）を新たに導入しております。
- なお、当行では 従来から仕組債等の商品性が複雑でハイリスクな商品の取扱いはございません。

投資信託ラインアップ

種 別	2022年3月末		2023年3月末		2024年3月末	
	ファンド数	構成比	ファンド数	構成比	ファンド数	構成比
債券	13	27.7%	13	26.0%	13	21.7%
国内債券	3	6.4%	3	6.0%	3	5.0%
海外債券	10	21.3%	10	20.0%	10	16.7%
株式	23	48.9%	29	58.0%	36	60.0%
国内株式	8	17.0%	8	16.0%	9	15.0%
海外株式	15	31.9%	21	42.0%	27	45.0%
REIT	5	10.6%	5	10.0%	5	8.3%
国内REIT	1	2.1%	1	2.0%	1	1.7%
海外REIT	4	8.5%	4	8.0%	4	6.7%
ハランス	6	12.8%	3	6.0%	6	10.0%
国内外ハランス	6	12.8%	3	6.0%	6	10.0%
合 計	47	100.0%	50	100.0%	60	100.0%

《 2024年3月末 》

投資信託 60ファンド

うち 成長投資枠対象 25ファンド

つみたて投資枠対象 14ファンド

※ 2023年度 10ファンド導入

生命保険ラインアップ

種 別	2022年3月末		2023年3月末		2024年3月末	
	商品数	構成比	商品数	構成比	商品数	構成比
変額終身 (一時払)	2	12.5%	2	12.5%	2	13.3%
円 建	2	12.5%	2	12.5%	2	13.3%
定額終身 (一時払)	7	43.8%	7	43.8%	7	46.7%
円 建	2	12.5%	2	12.5%	2	13.3%
円建・外貨建	1	6.3%	1	6.3%	1	6.7%
外貨建	4	25.0%	4	25.0%	4	26.7%
定額個人年金 (一時払)	5	31.3%	5	31.3%	4	26.7%
円建・外貨建	1	6.3%	1	6.3%	4	26.7%
外貨建	4	25.0%	4	25.0%	0	0.0%
定額個人年金 (平準払)	2	12.5%	2	12.5%	2	13.3%
円 建	1	6.3%	1	6.3%	1	6.7%
外貨建	1	6.3%	1	6.3%	1	6.7%
合 計	16	100.0%	16	100.0%	15	100.0%

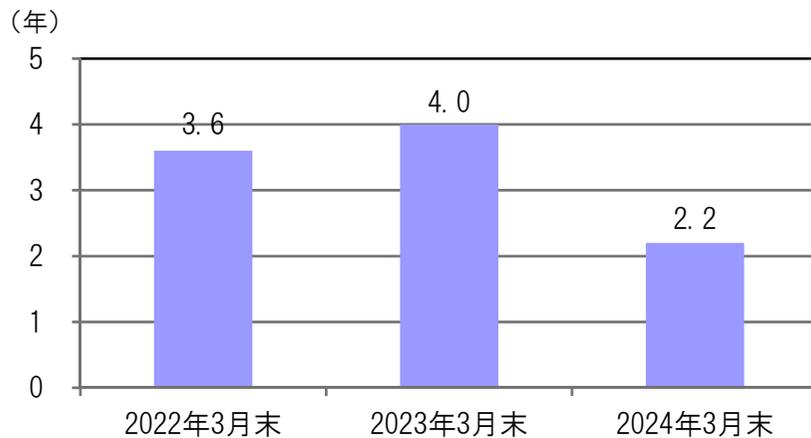
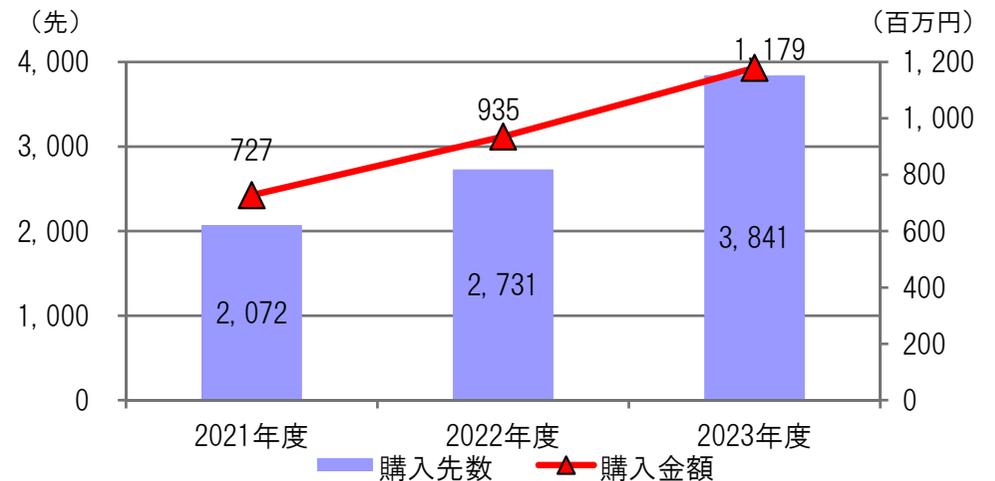
《 2024年3月末 》
生命保険 15商品
※ 2023年度 1商品販売中止
投資信託販売額上位 5 商品 (2023年度)

順位	商 品 名	運用会社	種 別	構成比
1	米国株式インデックス (S & P500)	大和アセットマネジメント	海外株式	13.1%
2	ダイワJ-REITオープン (毎月分配型)	大和アセットマネジメント	国内REIT	13.1%
3	ダイワFEグローバル・バリュー (為替ヘッジなし)	大和アセットマネジメント	海外株式	9.7%
4	ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド	大和アセットマネジメント	海外株式	6.3%
5	ハリス世界株ファンド (毎月決算型)	朝日ライフアセットマネジメント	海外株式	5.6%

生命保険販売額上位 5 商品 (2023年度)

順位	商 品 名	引受保険会社	種 別	構成比
1	ファイブテン・ワールド3	T & D フィナンシャル生命	定額個人年金 (円建・外貨建)	41.6%
2	ハイブリッドあんしんライフ	T & D フィナンシャル生命	変額終身 (円建)	24.6%
3	ふるはーとJロードプラス	住友生命	定額終身 (円建)	8.1%
4	生涯プレミアムワールド5	T & D フィナンシャル生命	定額終身 (外貨建)	7.3%
5	ふるはーとJロードグローバルII	住友生命	定額終身 (外貨建)	3.7%

- お客様の最善の利益の追求に向けた良質な商品・サービスの提供に努め、長期資産形成につながる提案を行ったものの、2023年度は株価上昇等による投資信託の利益確定売りが増加したため、投資信託の「平均保有期間」は2024年3月末で2.2年となりました。
- なお、長期・分散・積立投資等に適した「積立型投資信託」の販売を推進しており、年間購入先数・金額は着実に増加しております。

投資信託 平均保有期間

積立型投資信託 年間購入先数・金額


- 保険商品は長期保有が前提であり、当行では余裕資金を期間5年以上で運用する意向のお客様に限り販売しているため、2023年度より「目標到達型保険商品」については、各商品の5年経過時点の解約返戻率を目標値の目安（下限）として販売しております。

(3) 企業倫理についての集合研修やロールプレイングによるコンサルティングスキルの向上に努めるとともに、誠実かつ公正な業務運営を行うため、コンサルティング営業を更に強化し、お客様のニーズに合った商品・サービスを提供してまいります。

【金融庁原則2に対応】

- 取組状況はP3【取組方針1】(1)（預かり資産研修等）と同様となります。

(1) お客様との利益相反の可能性について正確に把握するとともに、利益相反のおそれがある取引をあらかじめ特定する等、適切な管理を行ってまいります。

【 金融庁原則 3 に対応 】

- 当行はお客様との利益相反の可能性について正確に把握・管理するため、「利益相反管理方針」及び「利益相反管理規程」を制定しており、当行の業務内容・特性等を踏まえて、利益相反管理の対象とすべき業務及び行為をあらかじめ定めております。
- 上記方針及び規程に基づく利益相反管理の対象取引（利益相反のおそれがある取引）が発生した場合には、関係業務部門及び営業店等は利益相反管理部署を通じて利益相反管理責任者へ申請し、お客様の利益を害することがないよう管理方針を決定のうえ、適切に管理しております。

(2) お客様に販売する商品を選定する際は、合理的根拠適合性を遵守し、お客様にとって最適な商品提案ができるよう努めてまいります。

【 金融庁原則 3（注）に対応 】

- お客様に販売する商品を選定する際は、当該商品の特性・リスク等を事前に検証し、一定の顧客にとって投資対象としての合理性を有するものであることを確認のうえ、商品の導入を組織決定しております。
- また、新たな商品を導入する際は事前に行内研修等を実施しており、お客様にとって最適な商品提案ができるよう努めております。

【取組方針 4】 手数料の明確化

(1) お客様の投資判断に資するよう、商品毎の手数料等の透明性を高めるとともに、お客様の目線に立った丁寧な説明に努めてまいります。
【金融庁原則4に対応】

- 投資信託においては「投資信託説明書（交付目論見書）」、「目論見書補完書面」等、生命保険においては「商品概要書」を使用し、お客様にご負担いただく各種手数料等について説明しております。
- また、投資信託の販売にあたっては、預かり資産販売支援アプリ「Wealth Advisor」の商品概要（ファンド情報）や購入金額・手数料シミュレーション機能等を活用し、[お客様にご負担いただく各種手数料等の概算金額を事前に提示](#)しております。

< Wealth Advisor 機能 >

国際株式
基準日: 2024/06/17

米国株式インデックス(S&P500)
16,499円 (+22)

アジア・オセアニア好配当成長株(毎月)
1,746円 (+1)

明治安田 米国中小型成長株式ファンド
11,124円 (-119)

アジア・オセアニア好配当成長株(1年決算型)
17,627円 (+12)

米国連続増配成長株オープン『愛称: 女神さま・オープン』
26,198円 (-57)

米国株式インデックス(S&P500)
運用会社: 大和

手数料等

申込手数料 2.2% (税込)

換金手数料 換金手数料はかかりません。

信託財産留保額 信託財産留保額はありませぬ。

信託報酬 年率0.462% (税込)

その他費用 下記その他費用はファンドより実費として間接的にご負担いただきます。
 ・ 監査費用
 ・ 有価証券売買時の売買委託手数料 等

ファンド概要

ファンドの運用方針 および特色 主として、マザーファンドの受益証券を通じて、米国の株式に投資し、投資成果をS&P500指数(税引後配当込み、円ベース)の動きに連動させることをめざして運用を行う。為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行わない。ファミリーファンド方式で運用。9月決算。

設定日 2022年10月03日

信託期間 無期限

購入 毎営業日ご購入のお申込みをいただけます。ファンドによっては申込不可日があるため、詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。

下記シミュレーション結果は、仮に表記の基準価額(シミュレーション)(一部のファンドは販売基準価額)で約定した場合の概算金額を示したものであり、実際の約定取引の内容とは異なります。
基準日: 2024/06/17時点 作成日: 2024/06/18時点

米国株式インデックス(S&P500)	コース	お申込数量	うち手数料等(A)	概算金額(A+B)
分配金受取		5,000,000円	107,631円	5,000,000円
投資比率	事前預時必要金額		約定口数	約定金額(B)
基準価額(シミュレーション) 16,499円	100%	5,000,000円	2,965,252口	4,892,369円
概算金額合計				5,000,000円
お預かり時必要金額合計				5,000,000円

基準価額(シミュレーション) ... 前営業日(2024年06月17日)の基準価額(一部のファンドは販売基準価額)。
 事前預時必要金額 ... お申込と同時に申込代り金をお預かりさせていただく場合に必要となる金額(お申込代り金入金金額)。金額買付でお申し込みの場合、お申込数量(購入時手数料等を含む)。口数買付でお申し込みの場合、概算金額×105%(但し、募集の場合、概算金額×100%)の1,000円未満を切り上げた値。

<入力したお申込数量(金額)に購入時手数料等を含める場合、または口数買付の場合>
 うち手数料等(A) ... 表記の基準価額(シミュレーション)を基に計算した購入・募集手数料の概算値で、消費税等を含んだ値。

<入力したお申込数量(金額)に購入時手数料等を含めない場合>
 手数料等(A) ... 入力したお申込数量(金額)に対してかかる購入・募集手数料の概算値で、消費税等を含んだ値。

約定口数 ... 金額買付でお申し込みの場合、表記の基準価額(シミュレーション)を基に計算した概算値。口数買付でお申し込みの場合、お申込数量欄に入力した口数。

概算金額(A+B) ... 金額買付でお申し込みの場合、うち手数料等(A)、または手数料等(A)と約定金額(B)の合計額、表記の基準価額(シミュレーション)を基に計算した概算値。口数買付でお申し込みの場合、表記の基準価額(シミュレーション)を基に計算した概算値。

(2) 生命保険商品（特定保険契約）に係る代理店手数料については、2016年11月から開示を行っております。

【金融庁原則4に対応】

- 生命保険商品（特定保険契約）に係る代理店手数料については、[2016年11月から「商品概要書」に記載し開示](#)しております。

< 商品概要書 記載例 >

住友生命が金融機関代理店に支払う販売代理店手数料について

住友生命は保険契約の締結の媒介や保険契約の維持管理業務等の対価として金融機関代理店に対し、払込金額に以下の手数料率を乗じた金額を支払います^(※9)。この手数料は、住友生命が金融機関代理店に支払うものであり、契約締結前交付書面に記載の「お客さまにご負担いただく費用」に追加して別途お客さまにご負担いただくものではありません。

指定通貨	米ドル・豪ドル		円	
	5年	10年	5年	10年
掘置期間	5年	10年	5年	10年
初年度手数料率	1.50%～0.10%	4.30%～0.60%	0.78%～0.11%	1.55%～0.20%
継続手数料率	0.25%～0.025%	0.25%～0.025%	0.06%～0.015%	0.15%～0.02%

(※9) 継続手数料はご契約から2年目～最長5年目までの間、住友生命が金融機関代理店に支払うものです。一時払保険料に継続手数料率を乗じた金額となります。

(3) 同一あるいは類似商品で手数料率が異なる場合等においては、双方の商品を比較するうえで、契約締結前交付書面、商品パンフレット、重要情報シート等を用いて具体的に分かりやすく説明いたします。

【金融庁原則4に対応】

- 投資信託は当行が取扱うファンドを一覧にした「[取扱いファンド一覧](#)」、預かり資産販売支援アプリ「Wealth Advisor」のファンド比較機能等、生命保険は「商品概要書」等を使用し、お客様が商品を比較する際に必要となる情報を具体的に分かりやすく説明しております。
- お客様への簡潔な情報提供、多様な商品の比較を容易にするための「[重要情報シート（個別商品編）](#)」を2022年8月より順次導入し、[2024年3月末で投資信託20商品、生命保険9商品で運用](#)しております。

< 取扱いファンド一覧（一部抜粋） >

新NISA 対象	ファンド名/運用会社	主な 投資対象	ファンドの特色	主なリスク	お申込手数料 (税込)	信託報酬 (年率、税込)	信託財産留保額	換金代金入金日 (換金日から起算)	決算日 (休業日の場合は翌営業日)
国内債券	ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型) 大和アセットマネジメント	主に 国内の 債券	日本の国債に投資を行い、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することを目指します。原則として15年程度までの国債を、各残存期間ごとの投資金額がほぼ同程度となるように組入れます。	価格 金利 信用 為替 流動性 カントリー リート 金 償還	1.10%	0.77%以内	なし	4営業日目	毎月10日
	ダイワ日本国債ファンド(年1回決算型) 大和アセットマネジメント	主に 国内の 債券		価格 金利 信用 為替 流動性 カントリー リート 金 償還	1.10%	0.77%以内	なし	4営業日目	年1回 3月10日
	明治安田日本債券オープン (毎月決算型)(愛称:しあわせ宣言) 明治安田アセットマネジメント	主に 国内の 債券		日本の国債・政府保証債・地方債・利付金融債・社債等に投資し、信託財産の長期的な成長を図ります。	価格 金利 信用 為替 流動性 カントリー リート 金 償還	0.55%	0.198%~0.715%	なし	4営業日目
国際債券	ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド (為替ヘッジあり・資産成長型)(愛称:デニッシュ・インカム) ニッセイアセットマネジメント	主に 海外の 債券	住宅ローン等を担保として、デンマークで発行される債券に主に投資し、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ります。	価格 金利 信用 為替 流動性 カントリー リート 金 償還	2.20%	0.913%	なし	6営業日目	年2回 3・9月 各25日
	米回国債ファンド為替ヘッジなし(毎月決算型) 大和アセットマネジメント	主に 海外の 債券	米回国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することを目指して運用を行います。投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの投資金額がほぼ同程度となるように組入れることを目指します。	価格 金利 信用 為替 流動性 カントリー リート 金 償還	2.20%	1.144%以内	なし	5営業日目	毎月26日
	米回国債ファンド為替ヘッジなし(年1回決算型) 大和アセットマネジメント	主に 海外の 債券	米回国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することを目指して運用を行います。投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの投資金額がほぼ同程度となるように組入れることを目指します。	価格 金利 信用 為替 流動性 カントリー リート 金 償還	2.20%	1.144%以内	なし	5営業日目	年1回 3月26日
	ワールド・ソブリンインカム(愛称:十二単衣) SBI 岡三アセットマネジメント	主に 海外の 債券	日本を含む世界主要先進各国のソブリン債(各国の国債や政府保証債等)に分散投資し、リスク分散を図ったうえで、長期的に安定した収益の確保と信託財産の成長を目指して運用します。	価格 金利 信用 為替 流動性 カントリー リート 金 償還	2.20%	1.155%	なし	5営業日目	毎月25日

< Wealth Advisor ファンド比較機能 >

分類	国内株式	国内株式
ファンド名	ストックインデックスファンド225	ノムラ・ジャパン・オープン
分散投資比率	50%	50%
投資金額・比率を変更	(100万円)	(100万円)
トータルリターン 5年(年率)	14.94%	16.23%
トータルリターン 10年(年率)	11.68%	11.08%
リスクメジャー	4(やや高い)	3(平均的)
シャープレシオ 1年	1.54	2.34
シャープレシオ 3年(年率)	0.74	1.17
シャープレシオ 5年(年率)	0.89	1.04
シャープレシオ 10年(年率)	0.71	0.7
上限申込手数料 (税込)	2.2%	3.3%
信託報酬 (税込・年率)	年率0.517%(税込)	年率1.672%(税込)

基準日: 2024/05/31 時点

上記は過去の運用実績を元にした情報であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

< 重要情報シート（個別商品編）記載例 >

3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）	
購入時に支払う費用（販売手数料など）	購入金額（約定日の基準価額×購入口数）に手数料率2.2%（税込）を乗じた額となります。
継続的に支払う費用（信託報酬など）	実質的に負担する運用管理費用は年率0.517%（税込）です。その他費用・手数料等が実費でファンドから支払われます。これらは事前に料率、上限等を表示することはできません。
解約時に支払う費用（信託財産留保額）	換金時手数料はありません。換金時に信託財産留保額はかかりません。
運用成果に応じた費用（成功報酬など）	ありません。

※ 上記以外に生ずる費用を含めて詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「ファンドの費用・税金」箇所に記載しています。

<次のような質問があれば、お問合せください>

- ・私がこの商品に○○万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
- ・費用がより安い類似商品はありますか。あればその商品について説明してほしい。（裏面もご覧ください）

(1) お客様にご提案する商品の選定理由、仕組み、リスク等について、投資判断に必要な情報を分かりやすく丁寧に説明いたします。
 また、投資啓蒙パンフレットを活用したお客様への案内や「お客様セミナー」を定期的を開催する等、お客様目線に立った情報提供に努めてまいります。

【金融庁原則5に対応】

- 2020年度に全店に導入したタブレット端末には、投資信託の商品概要（ファンド情報）やマーケット情報等のお客様の投資判断に必要な情報を多数搭載しており、それらを活用して分かりやすく丁寧に説明しております。

< 商品概要（ファンド情報） >

国内株式
 基準日: 2024/06/17
ストックインデックスファンド 225
 17,174円 (-324)
 ノムラ・ジャパン・オープン
 17,331円 (-341)
 ダイワ JPX日経400ファンド
 22,320円 (-387)
 女性活躍応援ファンド
 『愛称: 樺』
 13,733円 (-157)
 成長応援日本株ファンド
 『愛称: 匠のワザ』
 8,411円 (-79)

ストックインデックスファンド225
 運用会社: 大和
 基準価額 2024/06/17 **17,174円**
 前日比(円) **-324**
 純資産(百万円) 122,762
 ファンドレーティング **★★★★**
 リスクメジャー **4 (やや高い)**
 相性の良いファンド | リスク・リターン分析

分配金履歴 直近6期分(原則税引前1万口当たり・円)

1期前	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前
270	160	180	190	120	160
(2023/09/19)	(2022/09/20)	(2021/09/21)	(2020/09/23)	(2019/09/19)	(2018/09/19)

トータルリターン(%)

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年(年率)	5年(年率)	10年(年率)
0.19	-1.18	15.71	26.23	11.66	14.94	11.68

リスク(標準偏差)

1年	3年(年率)	5年(年率)	10年(年率)
17.01	15.80	16.72	16.36

シャープレシオ

1年	3年(年率)	5年(年率)	10年(年率)
1.54	0.74	0.89	0.71

< マーケット情報 >

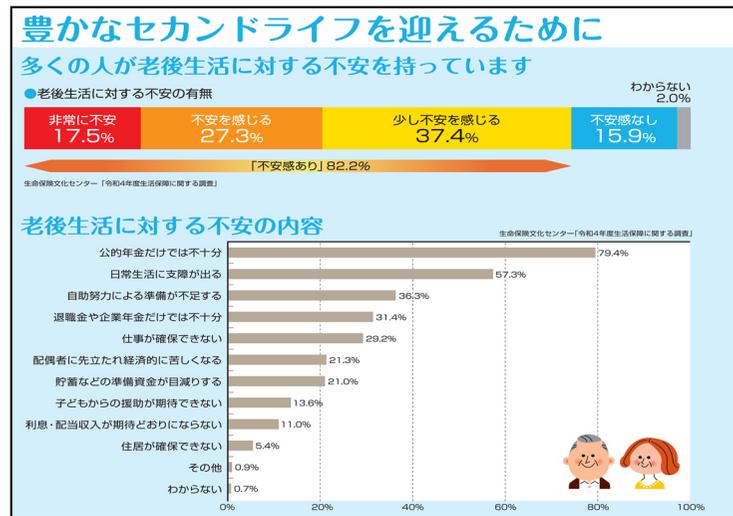
為替・国債 | 株価指数 | 投信コラム | ニュース | 経済イベント | テーマ特集 | 国情報

2024/06/18 16:45
更新

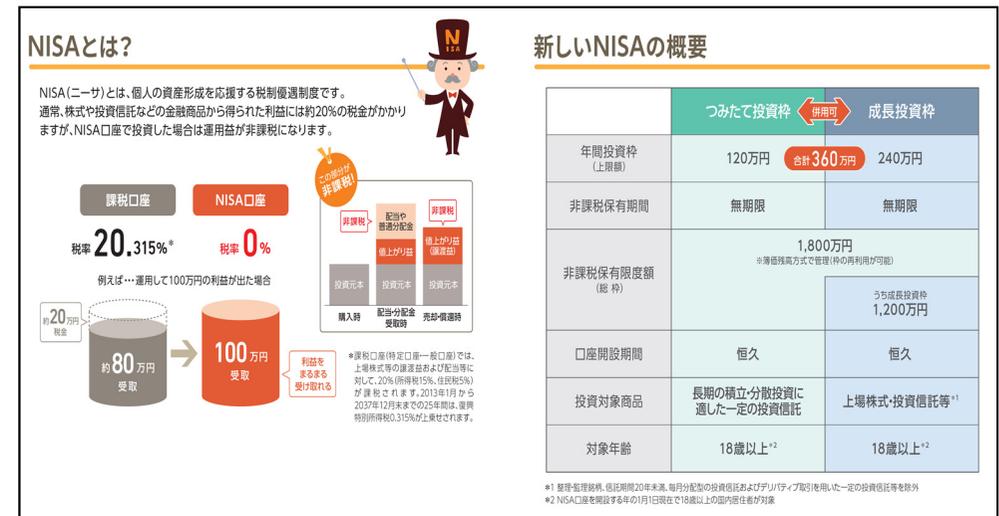
EU ユーロ / 円 169.58 - 169.58 前日比 +0.28	EU ユーロ / 米ドル 1.0727 - 1.0727 前日比 -0.0006	ロシア ロシアルーブル / 円 1.73 - 1.82 前日比 -0.00	中国 中国元 / 円 21.73 - 21.73 前日比 +0.03
イギリス ポンド / 円 200.47 - 200.48 前日比 +0.09	トルコ トルコリラ / 円 4.81 - 4.84 前日比 +0.02	南アフリカ 南アランド / 円 8.68 - 8.69 前日比 +0.04	オーストラリア 豪ドル / 円 104.59 - 104.60 前日比 +0.30
カナダ カナダドル / 円 115.02 - 115.04 前日比 +0.09	アメリカ 米ドル / 円 158.08 - 158.08 前日比 +0.35	オーストラリア 豪ドル / 米ドル 0.6616 - 0.6617 前日比 +0.0003	ニュージーランド NZドル / 円 96.50 - 96.52 前日比 -0.18
香港 香港ドル / 円 20.23 - 20.26 前日比 +0.05	メキシコ メキシコペソ / 円 8.55 - 8.55 前日比 +0.04	ブラジル ブラジルレアル / 円 29.00 - 29.30 前日比 +0.06	

- 投資啓蒙パンフレット『お金の話あれこれ』、2024年1月からの「新NISA」の概要や有効な活用方法等を記載したパンフレット『早わかりNISAガイドブック』等を多数取り揃えており、お客様の状況に応じてご案内しております。

< 『お金の話あれこれ』 (一部抜粋) >



< 『早わかりNISAガイドブック』 (一部抜粋) >



NISAとは?

NISA(ニーサ)とは、個人の資産形成を応援する税制優遇制度です。通常、株式や投資信託などの金融商品から得られた利益には約20%の税金がかかりますが、NISA口座で投資した場合は運用益が非課税になります。

例えは...運用して100万円の利益が出た場合

課税口座 税率 20.315%*
 NISA口座 税率 0%

約80万円 受取 → 100万円 受取

利益をまるまる受け取れる

※課税口座(特定口座一部口座)では、土地株式等の譲渡益および配当等に對して、20%(所得税15%、住民税5%)が課税されます。2023年1月から2027年12月までの25年間は、運用利益前年額0.315%が上乗せされます。

新しいNISAの概要

	つみたて投資枠	併用可	成長投資枠
年間投資枠(上限額)	120万円	合計 360万円	240万円
非課税保有期間	無期限		無期限
非課税保有限度額(総枠)	1,800万円 ※簿価換算方式で管理(枠の再利用が可能)		
			うち成長投資枠 1,200万円
口座開設期間	恒久		恒久
投資対象商品	長期の積立・分散投資に適した一定の投資信託		上場株式・投資信託等 ^{※1}
対象年齢	18歳以上 ^{※2}		18歳以上 ^{※2}

※1 整理・管理銘柄、信託期間20年未満、毎月分配型の投資信託およびデリバティブ取引を併用した一定の投資信託等を除く
 ※2 NISA口座を開設する年の1月1日現在で18歳以上の国内居住者が対象

- 金融商品に関する「お客様セミナー」、「年金相談会」等を定期的に開催し、お客様目線に立った情報提供に努めております。

お客様セミナー

	2021年度	2022年度	2023年度
開催数	—	17回	28回
参加者	—	136人	321人

年金相談会

	2021年度	2022年度	2023年度
開催数	41回	82回	82回
参加者	194人	369人	375人

※ 2021年度～2022年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い未開催または開催数を控えております

(2) お客様の投資に関する知識・経験、投資目的、リスク許容度やライフプラン等を踏まえたご提案に努めてまいります。
 また、タブレットを活用することで、より分かりやすく商品の特色・リスク・手数料ならびに市場動向等の説明を行い、重要な情報は文字の大きさ、色等で特に目立つように表示する等の取組みを通じて、必要な情報を十分に提供してまいります。
【金融庁原則5、原則5（注3）、原則5（注5）に対応】

- 金融商品のご提案にあたっては「[金融商品ご相談シート兼お客様カード](#)」を使用し、お客様の投資に関する知識・経験、投資目的、[リスク許容度やライフプラン等を十分にヒアリング](#) のうえ、それらを踏まえたご提案に努めております。
- 金融商品のご提案にあたっては商品パンフレットとともにタブレット端末を活用し、投資信託はファンドの特色、リスク、長期投資のリターン
 の状況や分散投資の効果等、生命保険は商品の特色、リスク、各種手数料等について視覚的に分かりやすく説明しております。

< 金融商品ご相談シート兼お客様カード >

金融商品ご相談シート兼お客様カード 静岡中央銀行
①取引店様

【お客様へのお願い】
 当行はお客様の金融知識、投資経験、投資目的などをご相談シートにて把握させていただき、お客様の「ご意向」を尊重した金融商品の相談をさせていただきたいと考えております。把握させていただいた個人情報につきましては弊行にて厳重に管理させていただきます。また各種金融商品、サービスのご提案にご利用させていただく場合がありますのでご了承くださいませようお願いいたします。
 (投資信託情報の発行ホームページの閲覧について)
 投資信託基準価額が大幅に下落した場合は、発行ホームページで投資信託委託会社が作成する臨時市場レポート等が閲覧できますので、ご覧ください。

[○ 各項目について直接ご記入いただくか、聞き取りによるご回答をお願いいたします。]
 [○ 聞き取りによるご回答の場合、内容をご確認のうえご確認ください]

1.お取引の動機

□ 当行からの提案

□ お客様からの申出 (運用相談 その他 ())

3.運用目的・方針について

①お客様のニーズ(目的)

□ 1. 殖やす
 □ 2. 殖やす(積み立てる)
 □ 3. 自分の将来のための年金を準備する(年金)
 □ 4. 将来ご家族のために保険金として資産を遺す(遺す)

②運用方針について

□ A. 元本割れの可能性のある商品への投資は避けたい
 □ B. 元本の安全性重視
 □ C. 元本割れのリスクを負っても配分金・利益による安定的な収入重視
 □ D. 元本割れのリスクを負っても配分金・利益による収入と共に値上がり益を追求
 □ E. 利回り向上が利益を重視

5.金融資産・投資経験

項目	経験年数					保有金額				
	1年未満	1年～5年未満	5年～10年未満	10年以上	なし	<50万円	50万円～100万円	100万円～200万円	200万円～500万円	500万円以上
総金融資産	<input type="checkbox"/>									
預貯金・現金	<input type="checkbox"/>									
国債・MMF・中国ファンド等 個人年金保険(定期・変額元本保証)	<input type="checkbox"/>									
投資信託	<input type="checkbox"/>									
生命保険(家計・外貨)	<input type="checkbox"/>									
株式(□国内 □海外)	<input type="checkbox"/>									
外貨預金	<input type="checkbox"/>									
その他債権(□国内 □海外)	<input type="checkbox"/>									
その他()	<input type="checkbox"/>									

金融資産における投資性金融資産の割合は □ 30%以下 □ 50%以下 □ () %以下
 どの程度までとお考えですか
 今回の運用で、お客様の投資性金融資産の割合はどれくらいになりますか □ 30%以下 □ 50%以下 □ () %程度
 【(ご参考)計算式：(投資性金融資産÷今回の運用予定金額4.※)÷総金融資産(各預貯金)×100】
 (※今回の運用予定金額4.が借債等の場合は加えません。)

6.お客様ご自身について

生年月日	年 月 日	年 齢	性 別	ご 連 絡 先
□ はい □ いいえ お住まい()			男 性 女 性 ()	お 勤 め 先
ご職業	<input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 会社役員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 医師 <input type="checkbox"/> 弁護士 <input type="checkbox"/> 公認会計士 <input type="checkbox"/> 税理士 <input type="checkbox"/> 自営 <input type="checkbox"/> 年金生活者 <input type="checkbox"/> パート <input type="checkbox"/> 無職 () <input type="checkbox"/> その他 ()			
ご年収	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> ~50万円未満 <input type="checkbox"/> 50万円以上~1千万円未満 <input type="checkbox"/> 1千万円以上~2千万円未満 <input type="checkbox"/> 2千万円以上~3千万円未満 <input type="checkbox"/> 3千万円以上			

確認欄

株式会社 静岡中央銀行 股 年 月 日
 私は、上記内容を確認し、金融商品の提案・勧誘を受けることを同意し、本カードの授受を受け取りました。
 おとこ
 お名前 _____
 同姓者 _____ 年 齢 _____ 職 務 _____

< 投資信託 ファンド詳細情報 >

投資者の皆さまへ Monthly Fund Report

ストック インデックス ファンド225

追加型投資/国内/株式/インデックス型

信託期間 : 1985年9月20日 から 無期限 基準日 : 2024年5月31日
 決算日 : 毎年9月19日 (休業日の場合翌営業日) 回次コード : 0805

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

< 基準価額・純資産の推移 >

2024年5月31日現在
 基準価額 17,355円
 純資産総額 1,244億円

期間別騰落率

期間	ファンド	ベンチマーク
1か月間	+0.2%	+0.2%
3か月間	-1.2%	-1.1%
6か月間	+15.7%	+16.0%
1年間	+26.2%	+26.9%
3年間	+39.2%	+41.7%
5年間	+100.7%	+106.2%
年初末	+15.7%	+15.9%
設定末	+195.2%	+401.1%



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています(設定日前日は10,000として指数化)。
 ※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
 ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
 ※当該ファンドは日経平均トータルリターン・インデックスをベンチマークとしておりますが、同指数を上回る運用成果を保障するものではありません。
 ※グラフ上のベンチマークは、グラフの起点時の分配金再投資基準価額に基づき指数化しています。
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

14

(3) お客様にとって最適な商品を比較検討できるよう、販売・推奨を行う商品の基本的な利益（リターン）、損失その他のリスク、取引条件等について、契約締結前交付書面、商品パンフレット、重要情報シート等を用いて分かりやすい説明に努めてまいります。

【金融庁原則5、原則5（注1）、原則5（注4）、原則5（注5）、原則6（注1）に対応】

- お客様にとって最適な商品を比較検討できるようタブレット端末を活用し、投資信託はファンドの規模やパフォーマンス、各種手数料等の情報を横並びで比較し、生命保険は商品概要書等を比較して分かりやすく説明しております。

< 比較チャート >



< 投資成果 >

投資金額での成果		100万円基準での投資成果へ→	
選択期間：5年間(2019/06/21～2024/06/14)			
選択期間に満たないファンドが含まれている場合は、ファンド設定時からの投資金額による投資成果となります。			
ダイワ・US-REIT(毎月決算)A為替H有 投資金額：100万円	分配金再投資コース	108.01	万円
	分配金受取コース	106.81	万円
	元本の騰落	59.09	万円
ダイワ・US-REIT(毎月決算)B為替H無 投資金額：100万円	分配金再投資コース	176.35	万円
	分配金受取コース	144.06	万円
	元本の騰落	82.27	万円
分散投資 投資金額：200万円	分配金再投資コース	284.36	万円
	分配金受取コース	250.86	万円
	元本の騰落	141.36	万円
受取分配金			
		47.72	万円
		61.79	万円
		109.51	万円

上記は過去の運用実績を元にした情報であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

- 分配金再投資コース … 投資元本を指定した投資金額としたときのトータルリターン。
- 分配金受取コース … 投資元本を指定した投資金額とし、決算日毎の分配金を受け取ったと仮定した場合の損益。
- 元本の騰落 … 投資元本を指定した投資金額としたときの選択期間中の期末の基準価額に基づく評価額です。
- 受取分配金 … 投資元本を指定した投資金額としたとき、選択期間中に受け取った分配金(税引前)の合計額です。全ファンド1口=1円と仮定し、投資開始時点の基準価額をもとに保有口数を計算しているため、実際の受取分配金額と異なる場合があります。

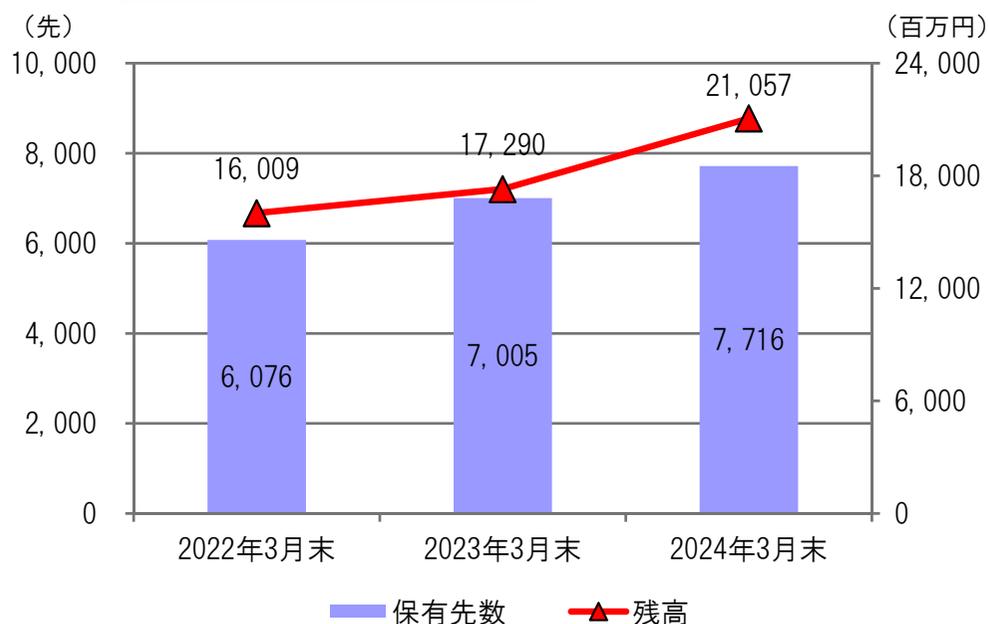
- お客様への簡潔な情報提供、多様な商品の比較を容易にするための「[重要情報シート（個別商品編）](#)」を2022年8月より順次導入し、[2024年3月末で投資信託20商品、生命保険9商品で運用](#)しております。

(1) お客様の投資に関する知識・経験、投資目的、リスク許容度やライフプラン等をお伺いし、お客様にふさわしい最適な商品・サービスの提供、商品販売後の適切なアフターフォローを行ってまいります。また、特にご高齢のお客様に対しては、ご家族へのご相談をお勧めするなど、お客様の属性に合った商品提案に努めてまいります。

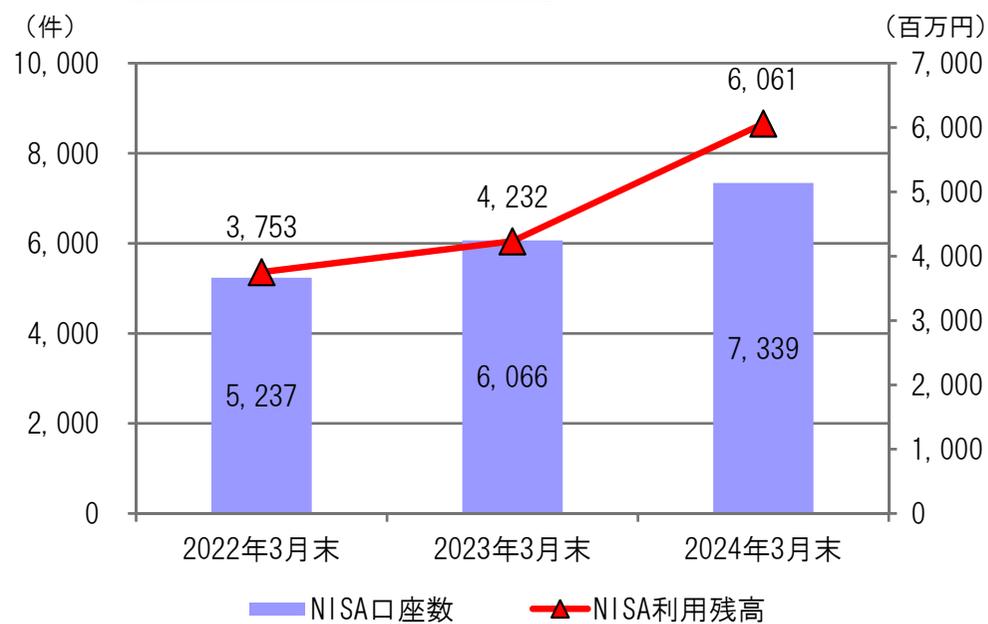
【金融庁原則6、原則6（注1）に対応】

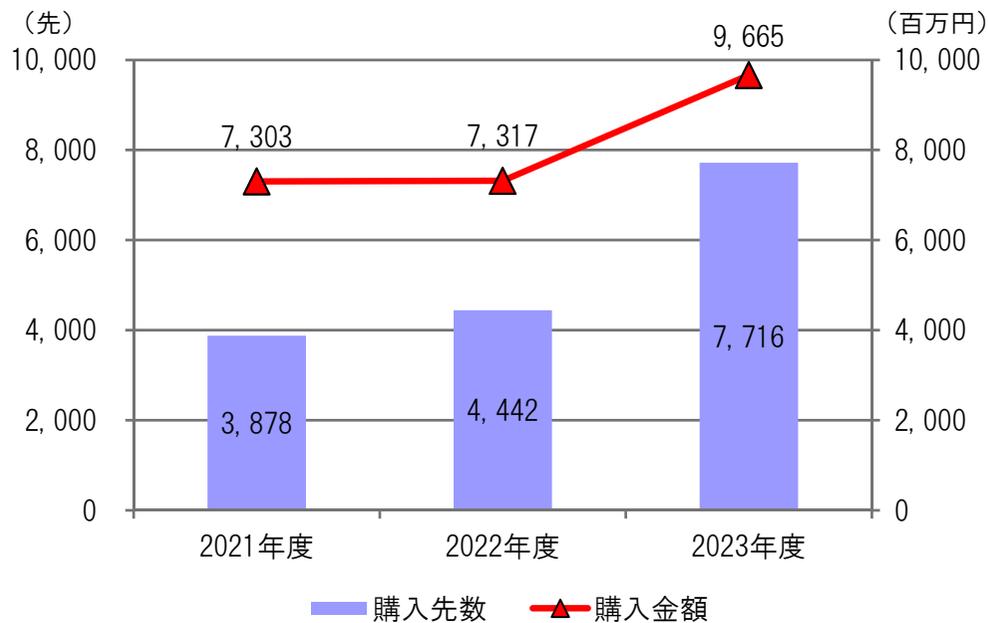
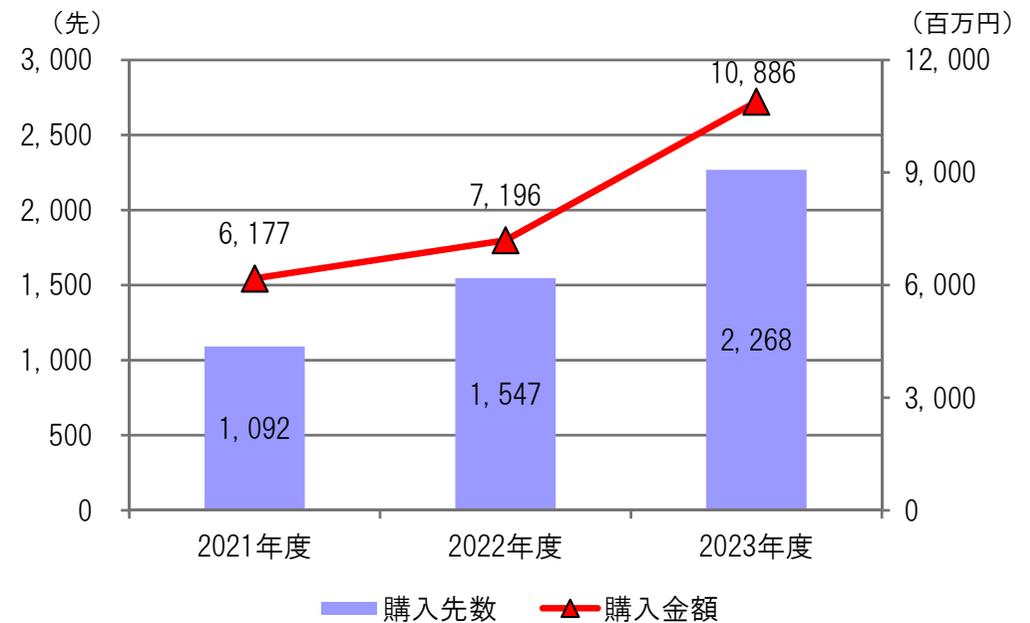
- お客様の投資に関する知識・経験、投資目的、リスク許容度やライフプラン等を踏まえたご提案に努めるとともに、商品販売後の適切なアフターフォローを行った結果、投資信託の「保有先数・残高」及び「NISA口座数・NISA利用残高」、投資信託及び生命保険の「年間購入先数・金額」は着実に増加しております。

投資信託 保有先数・残高



NISA口座数・NISA利用残高



投資信託 年間購入先数・金額

生命保険 年間購入先数・金額


(2) 適切なアフターフォロー

- ・商品販売後のアフターフォローは、ご高齢のお客様を中心に継続的にきめ細やかな情報提供に努めてまいります。
- ・市場動向が大きく変化した際は、相場見通しや商品の運用状況をはじめ、お客様の投資判断に必要な情報を提供する等、迅速かつ丁寧なアフターフォローを行ってまいります。

【金融庁原則6（注1）に対応】

- 当行では、一定の基準を満たした投資信託保有先を対象に「定時アフターフォロー」を半年毎に実施しており、2023年度の実施率は100%（全先をフォロー）となっております。

《 投資信託「定時アフターフォロー」対象先基準 》

- ① 運用損失 50万円以上かつ運用損失率 20%以上の銘柄を保有する先
- ② 75歳以上の高齢者

投資信託 定時アフターフォロー

	2021年度	2022年度	2023年度
延べ対象先数	2,218先	2,584先	2,263先
実施率	100%	100%	100%

- また、アフターフォローの更なる充実を図るため、2022年度より一定の基準を満たした生命保険保有先を対象に「定時アフターフォロー」を実施（以降、1年毎に実施）し、こちらも 2023年度の実施率は100%（全先をフォロー） となっております。

《 生命保険「定時アフターフォロー」対象先基準 》

【 定額終身（外貨建一時払）・定額個人年金（外貨建一時払） 】

- ① 75歳以上の高齢者

【 変額終身（円建一時払）の一部商品 】

- ① 解約損失^(※) 50万円以上かつ解約損失率20%以上の契約を保有する先
- ② 75歳以上の高齢者

※ 解約損失は基準日時点で解約した場合の解約返戻金をもとに算出

生命保険 定時アフターフォロー

	2022年度	2023年度
延べ対象先数	380先	497先
実施率	100%	100%

- 投資信託において、相場急変により基準価額が前日比5%以上下落した銘柄につきましては、[「臨時アフターフォロー」](#)として、[当行ホームページに投資信託委託会社が作成したファンドレターを掲載](#)しており、お客様の投資判断に必要な情報を迅速に提供しております。
- また、個々のお客様からのお問い合わせにつきましては、営業店にて個別対応しており、迅速かつ丁寧なアフターフォローを行っております。

投資信託 臨時アフターフォロー

	2021年度	2022年度	2023年度
実施回数	9回	13回	—
延べ対象銘柄	10銘柄	23銘柄	—

(3) ご高齢のお客様等への適切な金融商品の販売

- ・特にご高齢のお客様や投資に関する知識・経験が十分ではないお客様につきましては、リスクを抑えた商品をご提案する等、お客様にとって最適な商品の提供に努めてまいります。
- ・ご高齢のお客様に対しては、ご家族へのご相談をお勧めし、投資経験の浅いお客様には、リスクを抑えた商品をご案内する等、お客様の属性に合った商品提案に努めてまいります。
- ・リスクが高い商品に関しましては、お客様にふさわしいものであるか等慎重に検討し、当行からのご提案を控えさせていただくこともございます。

【金融庁原則6（注4）に対応】

- 金融商品のご提案にあたっては「金融商品ご相談シート兼お客様カード」を使用し、お客様の投資に関する知識・経験、投資目的、リスク許容度やライフプラン等を十分にヒアリングのうえ、それらを踏まえたご提案に努めております。
- なお、ご高齢のお客様や投資未経験のお客様につきましては、以下のとおり対応しております。

- [75歳以上80歳未満のご高齢のお客様](#) は、ご提案前に募集担当者以外の役席者が原則直接面談し、金融商品の販売の可否を判断しております。また、販売に際してはご家族の同席を求め、同席できない場合は募集担当者と役席者の同席または複数回の面談を実施しております。
- [80歳以上のご高齢のお客様](#) は、金融商品の販売を原則不可としております。お客様から購入の申出があった場合に限り、ご家族の同席を求めるなど慎重に対応し、最終的には本部主管部署が金融商品の販売の可否を客観的に判断しております。
- [投資未経験のお客様](#) は、① ご家族の同席、② 複数回の面談、③ 募集担当者以外の役席者の同席の何れかを求め、金融商品の販売の可否を判断しております。

(4) 商品ラインアップの充実

・お客様の投資に関する知識・経験、投資目的、リスク許容度やライフプラン等に応じて、お客様の多様なニーズに合った最適な商品を選択いただけるよう、商品ラインアップの充実に努めるとともに、お客様の安定的な資産形成に資する新たな商品の導入、既存商品の見直し等を定期的に行い、情報提供は「お客様セミナー」を定期的を開催する等、お客様の目線に立った活動に努めてまいります。

【 金融庁原則6（注1）、原則6（注5）に対応 】

- 取組状況はP5～7【取組方針2】（2）（投資信託・つみたてNISA・生命保険ラインアップ等）、P12～13【取組方針5】（1）（お客様セミナー、年金相談会）と同様となります。

【取組方針 7】 お客様本位の取組みに合った 業績評価・人事評価体系の整備

(1) お客様により良い商品・サービスが提供できるよう、職業倫理の醸成や専門知識の習得など、コンサルティング機能強化のための人材育成に取り組んでまいります。また、お客様に最適なコンサルティングができるよう、業績評価・人事評価体系を見直してまいります。

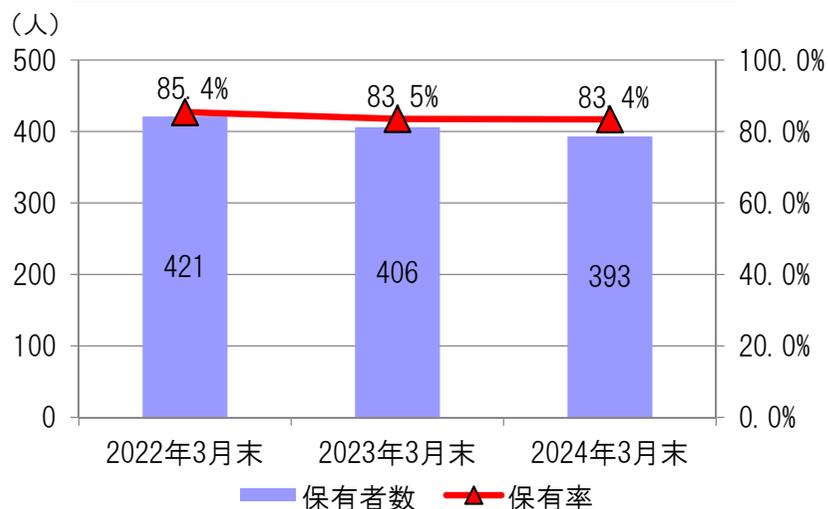
【金融庁原則7に対応】

(2) 研修による指導や外部専門資格取得を推奨し、お客様へのコンサルティング能力を高める等、人材の育成にも努めてまいります。

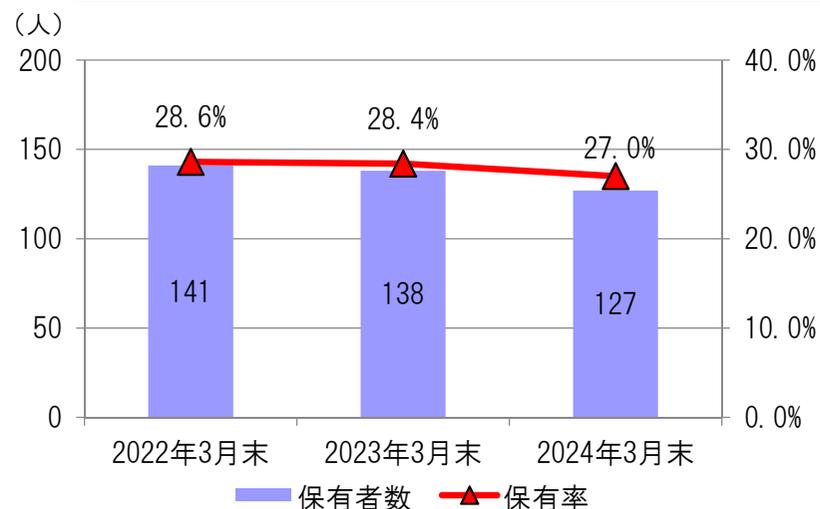
【金融庁原則7に対応】

- 当行ではお客様に最適なコンサルティングができるよう、投資信託及び生命保険の業績評価基準を販売手数料ではなく「販売金額」としており、特定の運用商品の販売に偏らない業績評価体系としております。また、人事評価体系に外部専門資格取得を組入れ、F P 及び金融窓口サービス等の資格取得を推奨しております。

F P 資格保有者数・保有率（パート・派遣除く）



金融窓口サービス資格保有者数・保有率（パート・派遣除く）



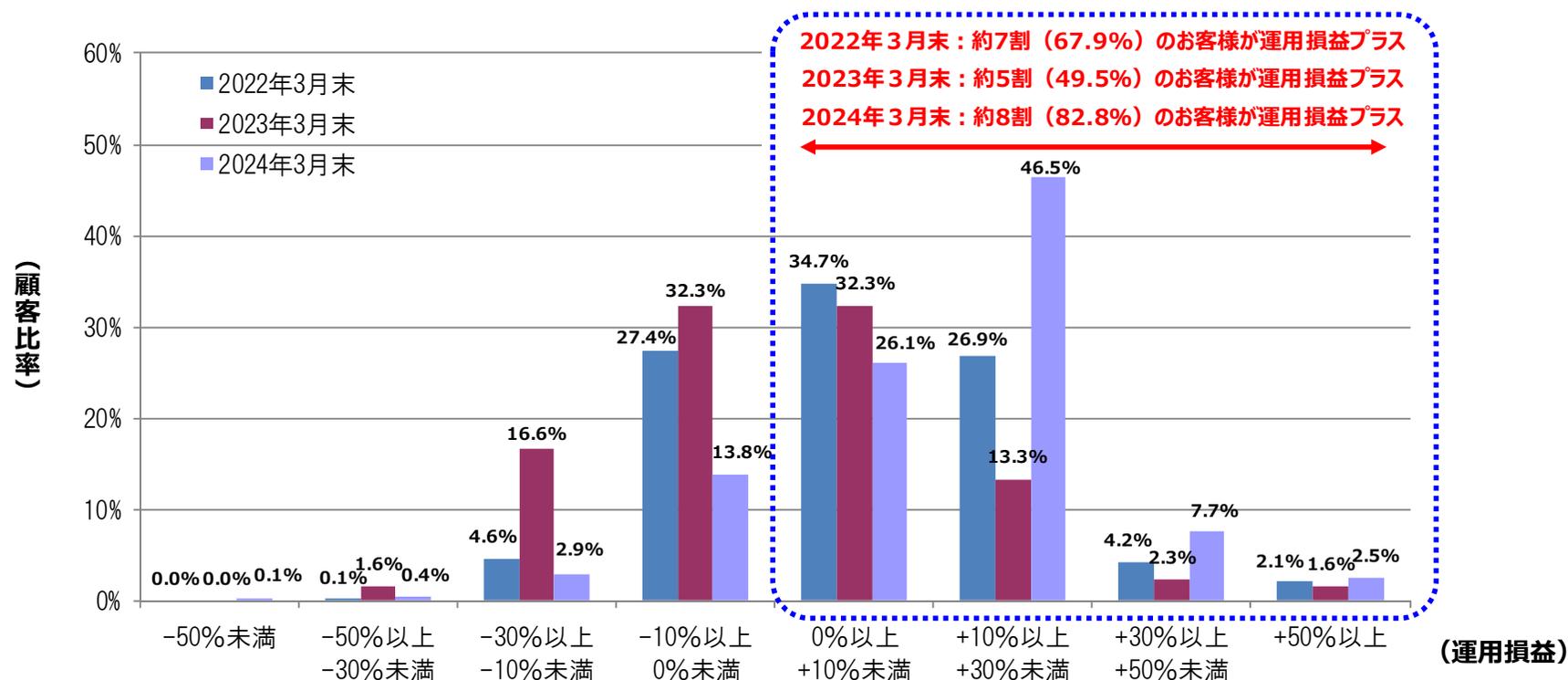
- 人材育成に関わる研修等の取組状況は P 3【取組方針 1】(1)（預かり資産研修等）と同様となります。

【金融庁原則 非該当項目】

- 金融庁原則 2～7のうち、**原則 5（注 2）**、**原則 6（注 2）**、**原則 6（注 3）**につきましては、当行は以下の理由から「非該当」であるため、それらに関わる取組状況の記載はございません。
 - （1）当行は「複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨」等していないため、原則 5（注 2）、原則 6（注 2）は 非該当 となります。
 - （2）当行は「金融商品の組成に携わる金融事業者」ではないため、原則 6（注 3） は 非該当 となります。

【共通 K P I ①】 投資信託 運用損益別顧客比率

- 2024年3月末時点では、投資信託の運用損益がプラスのお客様の割合は全体の約8割（82.8%）となりました。
- 運用損益の区分のうち “+10%以上+30%未満” の比率が最も高く、全体の46.5% となりました。



< 対象者 >

基準日時点で投資信託を保有している個人のお客様

< 運用損益計算方法 >

(分子) 基準日時点の評価金額+累計受取分配金額(税引後)+累計売付金額-累計買付金額(含む消費税込の販売手数料)

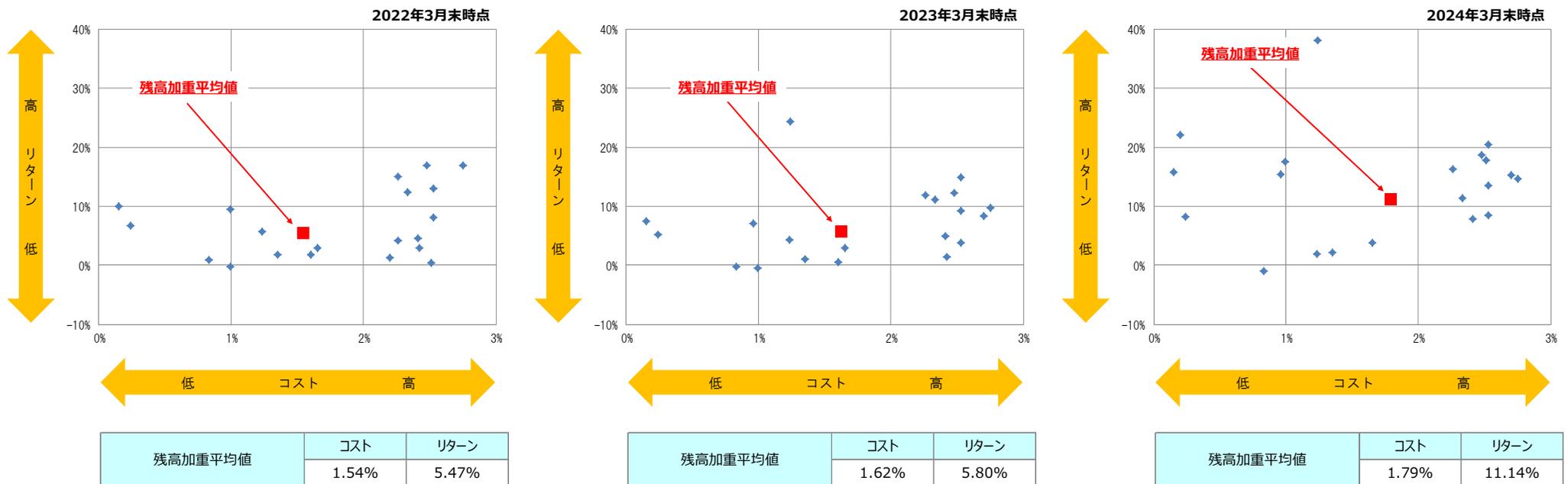
基準日時点までに全部売却・償還された銘柄は対象外

(分母) 基準日時点の評価金額

(遡及期間) 当該銘柄の購入当初まで遡及

【共通KPI②】 投資信託 預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

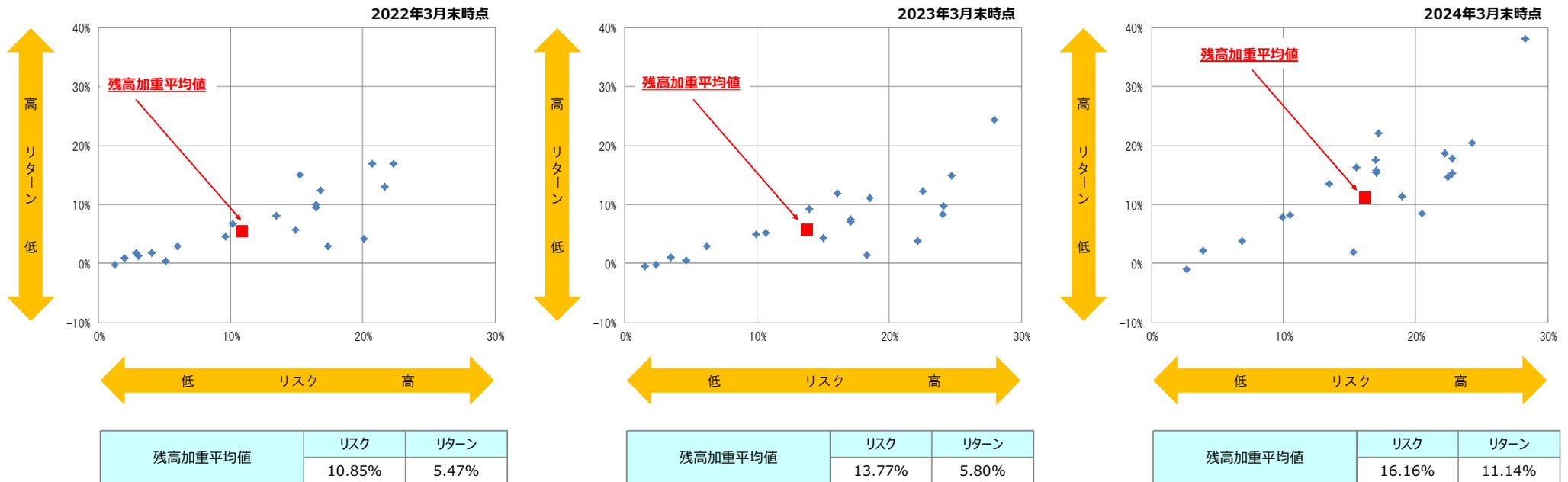
- 2024年3月末時点では、投資信託 預り残高上位20銘柄中、19銘柄でリターンがコストを上回っております。
- 預り残高上位20銘柄の 平均コスト1.79% に対し 平均リターンは11.14% となりました。



- < 対象銘柄 >
 投資信託 預り残高上位20銘柄（設定後5年以上の銘柄）
- < コスト >
 販売手数料率上限（消費税込）の1/5と信託報酬率（消費税込）の合計値
- < リターン >
 過去5年間のトータルリターン（年率換算）

【共通KPI③】投資信託 預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

■ 2024年3月末時点では、投資信託 預り残高上位20銘柄の 平均リスク16.16% に対し 平均リターンは11.14% となりました。



- < 対象銘柄 >
投資信託 預り残高上位20銘柄（設定後5年以上の銘柄）
- < リスク >
過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）
- < リターン >
過去5年間のトータルリターン（年率換算）

【投資信託 預り残高上位20銘柄】

2023年3月末時点

順位	ファンド名	コスト	リスク	リターン
1	ダイワJーREITオープン（毎月分配型）	1.23%	15.03%	4.30%
2	明治安田日本債券オープン（毎月決算型）	0.83%	2.33%	-0.16%
3	ダイワFEGグローバル・バリュー（為替ヘッジなし）	2.53%	13.93%	9.24%
4	ダイワ・U SーREIT・オープン（毎月決算型）Bコース（為替ヘッジなし）	2.33%	18.52%	11.13%
5	野村インド債券ファンド（毎月分配型）	2.41%	9.93%	4.92%
6	マイ・ロード	1.35%	3.45%	1.08%
7	サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし）	2.53%	24.72%	14.87%
8	パン・バシフィック外国債券オープン	1.65%	6.19%	2.89%
9	ロボット・テクノロジー関連株ファンド	2.48%	22.52%	12.30%
10	成長応援日本株ファンド	2.53%	22.15%	3.89%
11	ストックインデックスファンド225	0.96%	17.05%	7.07%
12	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	2.42%	18.29%	1.42%
13	FANG+インデックス・オープン	1.24%	27.94%	24.37%
14	明治安田米国中小型成長株式ファンド	2.75%	24.09%	9.70%
15	ダイワ日本国債ファンド（毎月分配型）	0.99%	1.47%	-0.40%
16	米国連続増配成長株オープン	2.26%	16.07%	11.83%
17	ワールド・ソブリンインカム	1.60%	4.62%	0.58%
18	iFree 8資産バランス	0.24%	10.63%	5.27%
19	ハリス世界株ファンド（毎月決算型）	2.70%	24.07%	8.31%
20	iFree 日経225インデックス	0.15%	17.06%	7.49%
預り残高上位20銘柄の残高加重平均値		1.62%	13.77%	5.80%

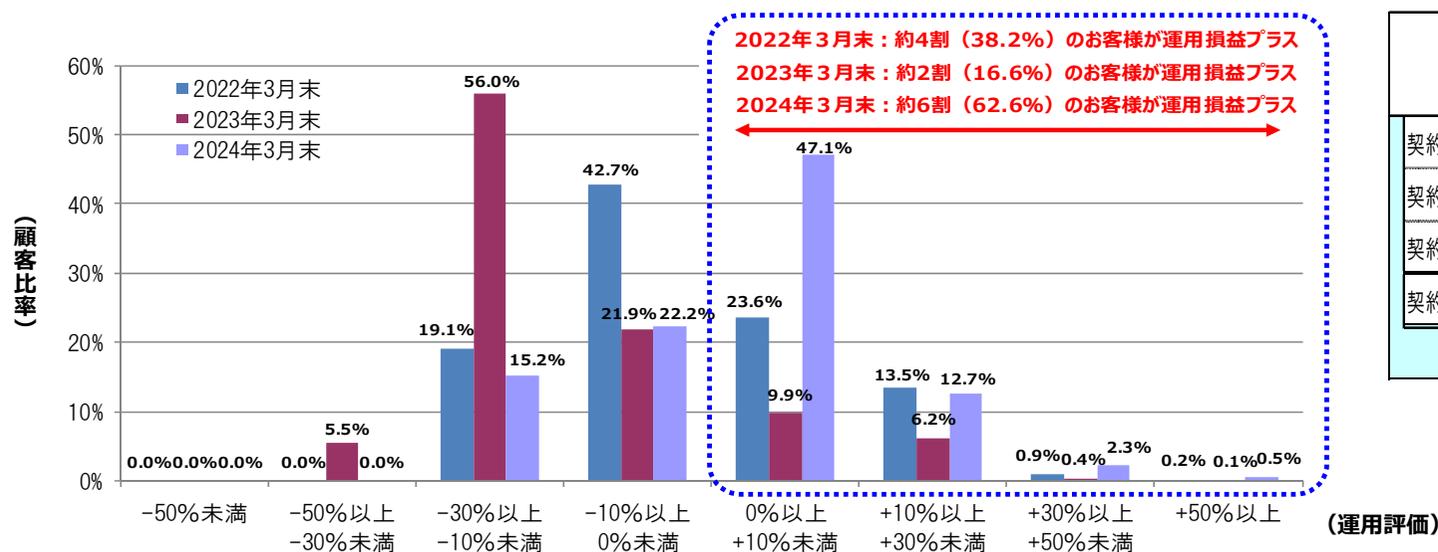
2024年3月末時点

順位	ファンド名	コスト	リスク	リターン
1	ダイワJーREITオープン（毎月分配型）	1.23%	15.30%	1.96%
2	ダイワFEGグローバル・バリュー（為替ヘッジなし）	2.53%	13.44%	13.57%
3	ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド	2.51%	22.76%	17.78%
4	野村インド債券ファンド（毎月分配型）	2.41%	9.94%	7.87%
5	ダイワ・U SーREIT・オープン（毎月決算型）Bコース（為替ヘッジなし）	2.33%	18.94%	11.41%
6	ハリス世界株ファンド（毎月決算型）	2.70%	22.76%	15.29%
7	明治安田日本債券オープン（毎月決算型）	0.83%	2.69%	-0.93%
8	サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし）	2.53%	24.27%	20.42%
9	ロボット・テクノロジー関連株ファンド	2.48%	22.23%	18.63%
10	FANG+インデックス・オープン	1.24%	28.31%	38.13%
11	マイ・ロード	1.35%	3.91%	2.20%
12	iFree S&P500インデックス	0.20%	17.20%	22.05%
13	ストックインデックスファンド225	0.96%	17.02%	15.39%
14	パン・バシフィック外国債券オープン	1.65%	6.83%	3.84%
15	米国株式配当貴族（年4回決算型）	0.99%	16.97%	17.54%
16	iFree 8資産バランス	0.24%	10.47%	8.28%
17	iFree 日経225インデックス	0.15%	17.03%	15.84%
18	明治安田米国中小型成長株式ファンド	2.75%	22.43%	14.69%
19	成長応援日本株ファンド	2.53%	20.48%	8.54%
20	米国連続増配成長株オープン	2.26%	15.48%	16.31%
預り残高上位20銘柄の残高加重平均値		1.79%	16.16%	11.14%

【 共通 K P I ① 】 外貨建保険 運用評価別顧客比率

■ 2024年3月末時点では、外貨建保険の運用評価がプラスのお客様の割合は全体の約6割（62.6%）となりました。

- 外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合が多くあります。
※2024年3月末時点では、契約後1年未満の契約の42.1%、契約後1年以上2年未満の契約の29.6%、契約後2年以上5年未満の契約の45.0%について運用評価がマイナスとなっております。
- 解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

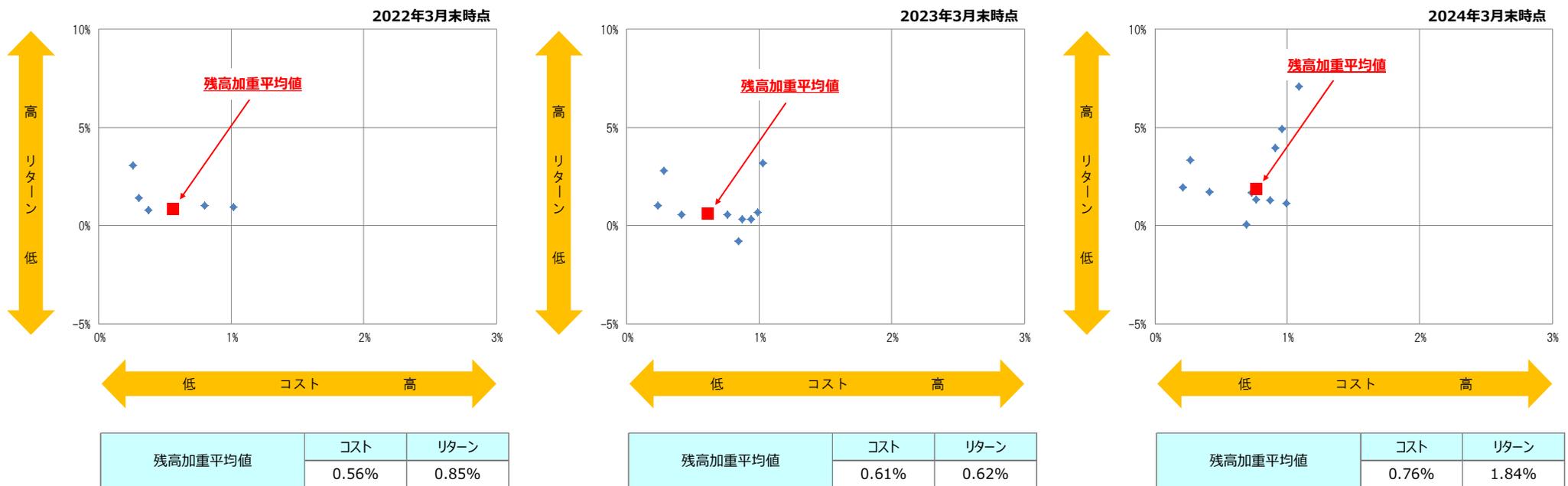


	件数	マイナス		プラス	
		件数	割合	件数	割合
契約後1年未満	482	203	42.1%	279	57.9%
契約後1年以上2年未満	476	141	29.6%	335	70.4%
契約後2年以上5年未満	921	414	45.0%	507	55.0%
契約後5年以上	172	10	5.8%	162	94.2%
全 体	2,051	768	37.4%	1,283	62.6%

- < 対象者 >
基準日時点で外貨建一時払保険を契約している個人のお客様
- < 対象契約 >
当行が保険募集を行った契約（基準日時点で解約済みの契約、年金の支払いが開始している年金契約（据置期間の契約も含む）等は除く）
- < 運用評価計算方法 >
 (分子) (基準日時点の解約返戻金額 + 基準日時点の既支払金額) - 契約時点の一時払保険料 (いずれも円換算)
 (分母) 契約時点の一時払保険料 (円換算)

【 共通 K P I ② 】 外貨建保険 銘柄別コスト・リターン

- 2024年3月末時点では、外貨建保険 対象11銘柄中、10銘柄でリターンがコストを上回っております。
- 対象11銘柄の 平均コスト0.76% に対し 平均リターンは1.84% となりました。



< 対象契約 >

当行が保険募集を行った契約で保険契約開始から60ヵ月以上経過した契約
 (基準日時点で解約済みの契約、年金の支払いが開始している年金契約(据置期間の契約も含む)等は除く)

< コスト >

保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料率を基準日までの契約期間(月単位)で除したものと年間の継続手数料率を使用し、各契約の契約時点の一時払保険料(円換算)で加重平均して算出

< リターン >

(基準日時点の解約返戻金額+基準日時点の既支払金額-契約時点の一時払保険料) ÷ (契約時点の一時払保険料) を年率換算し、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均して算出(いずれも円換算)

【 外貨建保険 対象銘柄 】
2023年3月末時点

残高順位	銘柄名	コスト	リターン
1	みらい、そだてる	0.41%	0.57%
2	しあわせ、ずっとNZ	0.99%	0.69%
3	しあわせ、ずっと	0.76%	0.57%
4	生涯プレミアムワールド4	0.94%	0.34%
5	生涯プレミアムワールド3	0.87%	0.32%
6	ふるはーとJロードグローバル	1.02%	3.17%
7	やさしさ、つなぐ	0.84%	-0.77%
8	アテナ2	0.23%	1.02%
9	アテナ	0.28%	2.79%
対象9銘柄の残高加重平均値		0.61%	0.62%

2024年3月末時点

残高順位	銘柄名	コスト	リターン
1	やさしさ、つなぐ	0.69%	0.06%
2	ふるはーとJロードグローバル	0.96%	4.91%
3	生涯プレミアムワールド4	0.99%	1.13%
4	しあわせ、ずっと	0.73%	1.66%
5	生涯プレミアムワールド3	0.76%	1.35%
6	みらい、そだてる	0.41%	1.73%
7	アテナ2	0.21%	1.96%
8	しあわせ、ずっとNZ	0.87%	1.30%
9	たのしみグローバル (指数連動プラン)	1.09%	7.09%
10	アテナ	0.27%	3.35%
11	たのしみグローバル (定率増加プラン)	0.91%	3.97%
対象11銘柄の残高加重平均値		0.76%	1.84%

2024年6月作成

株式会社 静岡中央銀行 経営管理部

TEL : 055-962-6113

URL : <http://www.shizuokachuo-bank.co.jp/>



静岡中央銀行